

小学校第5学年 道徳科学習指導案

学習指導者 高松市立太田小学校 池田 直美

1 主題名 社会のために (C-14 勤労、公共の精神)

(教材名「この思いをフェルトペンにたくして」 学研「新・みんなの道徳5年」)

2 単元計画(総時数 3時間【本時 3/3】)「震災を乗り越えようとした人たちから学ぼう」

○復興をめざした人々の姿から地域を思い、行動しようとする心情を育てる。【教材「復興への願いフェニックス」】

○生命を救い守り抜こうとした人たちの姿から命を尊重しようとする心情を育てる。【教材「20分間の出来事」】

○自分の役割を自覚し、公共のために役立つことをしようとする実践意欲を高める。【本時】

3 授業の見どころ

自分自身との関わりで働くことについて考えられるように、導入で日常生活を想起させ、終末で身近な人たちの様子や思いにふれる。

4 本時の学習指導

(1)ねらい

働くことは、自分の役割を自覚し、主体的に責任を果たそうとすることだと気づき、公共のために役立つことをしようとする実践意欲を高める。

(2)学習指導過程

学習活動と児童の意識	教師の指導
1 日常生活を振り返り、学習課題を確認する。 決められた仕事はやり遂げているよ。 仕事を忘れてしまうこともあったな。 本当に役に立っているのか自信がないな。 役割を果たすために、どんな思いを大切にすればよいか考えよう。	○自分の仕事への取り組みを振り返らせ、課題意識を高める。
2 「この思いをフェルトペンにたくして」をもとに話し合う。 (1) 震災直後の状況や新聞の発行をためらった新聞社の人たちの思いを確認する。 印刷機械も使えないのに、新聞を発行するなんて無理だ。 社員もその家族も被害を受けて、自分のことで精一杯なのに。 もし伝えた情報が間違っていたら、信用を失うかもしれない。 (2) 手書きの新聞を発行し続けた思いを考える。(個→グループ→全体) 地域の人たちは混乱しているから落ち着いてほしい。 地域の人たちに少しでも元気を出してほしい。 新聞社として、今こそ自分たちが責任を果たさなければいけない。 うまくできなくても、あきらめずに続けてみよう。 (3) 新聞を発行したことの影響を考える。 <地域の人々にとって> 安心 励まし 希望 笑顔 <新聞社の人たちにとって> 喜び 達成感 やりがい	○教材は事前に読んでおき、「わたし」の気持ちが伝わってくる箇所に線を引かせておくことで、葛藤があったことに気付かせる。 ○写真やキーワードを書いた短冊を黒板に提示し、当時の状況への理解を促す。 ⑧ 混乱の中、なぜ手書きの新聞を発行し続けたのか。 ○グループで付箋を用いて話し合う中で、多様な考えを認め合うように促す。 ○机間巡視をしながら個の考えを把握し、全体交流に生かす。 ○電子黒板に身近な人たちの働く様子や思いを提示することで、自分との関わりで「働くこと」を考えられるようにする。
授業づくりのポイント 3 身近な人たちが働く姿から、その思いや影響を考える。 <地域の安田さん> 地域の安全を守るために毎朝見守り活動をしているよ。 <6年生> 学校や地域のために、友達とボランティア活動をやっているよ。 <5年生> ハッピー活動や委員会で役割を果たしているよ。	
4 自分を振り返る。 委員会活動では「みんなにこうなってほしい。」という思いや目標をもって取り組んでいきたい。 友達と協力して高学年としての役割を果たしていきたい。 まだやったことの少ない仕事も、勇気を出して自分なりに挑戦してみたい。	⑨ 役割を果たすために、今の自分にとって必要な考えを見つけ出し、今後の生活に生かそうとする意欲をもつことができたか。

5 指導の工夫について

<ノート指導例> 授業開きで行った事前読みのしかた（ノートに貼っているもの）

道徳のじゅ業で考えを深めるためのステップ
五年 名前（ ）
 （ ）

3 生かそう

◎自分にとって大切な考えを見つけよう

◎毎日の生活の中で、どう生かしていけばよいかを考えよう

2 友だちといっしょに考えよう

◎いろいろなものの方、感じ方、考え方にふれよう

1 考えたいテーマを見つけよう（※宿題でやってきましょう。）

① 気持ちが強く伝わってきた部分に線を引く

□ 明るい気持ち（喜び・安心・満足・感動・希望など）…赤線

□ 暗い気持ち（悲しみ・不安・不満・後かいなど）…青線

□ 混じりあっている気持ち（まよっているなど）…黒線

② 自分の生活をふり返り、感想をノートに書く…感

□ 登場人物のように「したこと」「できなかったこと」「してもらったこと」

□ 自分だったら、どう考えるか、どう行動するか など

③ みんなで考えてみたいことをノートに書く…考

□ 「〇〇がしたのは、どんな気持ちからだったのか。」

□ 「〇〇は、どうした方がいい（よかった）か。」

□ 「どうするのが本当の△△なのか。」

□ 「△△すると、どんないいことがあるか。」 など



<本時の価値構造図> 予想される児童の考えと補助発問

